



# 損保ジャパン日本興亜 環境財団ニュース Vol.5

2017年9月

発行者／公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL：03-3349-4614 FAX：03-3348-8140

URL：http://sjnkef.org/ E-mail：office@sjnkef.org



Sompo Japan  
Nipponkoa  
Environment  
Foundation

## 1. 環境保全プロジェクト助成先を取材

毎年実施している「環境保全プロジェクト助成」の助成金活用状況について、2016年度助成先、やまがたヤマネ研究会代表中村夢奈さんにお話を伺いました。

### Q1. やまがたヤマネ研究会とはどのような団体ですか？

ヤマネやモモンガなどの希少野生動物の研究を行いながら、一人一人が希少種・外来種・獣害問題などの「野生動物問題」を解決できるように、地域の野生動物たちの本当の姿や自然を伝えるエコツアーや学習会を行っている団体です。

### Q2. 現在ではどのような活動を行っていますか？

小学生対象の自然科学教室「ネイチャースペシャリストクラブ」に力を入れています。この活動では、子ども達と一緒に様々な研究手法を用いて地域の野生動物や自然を調べていきます。自然への疑問を探求しながら、野外での安全管理、生き物への好奇心、命の大切さを育み、「自分にとっての生物多様性とはなにか？」を考えていきます。



低学年クラスによる川虫調査

会の設立10年目を迎えた2017年度は「ネイチャースペシャリストクラブ」を大学生インターンの受け入れプログラムとすることで、担い手育成と地域と大学をつなぐ活動に力を入れています。

やまがたヤマネ研究会では、設立1年目にエコツアーに参加した当時小学生のお子さんが、今年は大学生となってインターンに来てくれたそうです。



コウモリ超音波探知機で稀少コウモリ探し

### Q3. 助成金はどのように活用していますか？

主にパンフレット製作費と機材費に活用させていただきました。消耗品に近い調査機材の購入ができるという点でも助かります。ウミホタルの観察や稀少コウモリの探索に機材を導入できたことで、子ども達の生き物の調査への意欲と好奇心を刺激することができました。プロジェクトの準備期間から活用できる点も大変ありがたいです。



ムササビ観察

## 2. 2017年度「環境保全プロジェクト助成」の募集を開始

損保ジャパン日本興亜環境財団では、環境問題に取り組むNPO・NGO等の環境保全プロジェクトがより充実したものとなるよう、毎年、資金助成を実施しています。第15回目となる今年度の「環境保全プロジェクト助成」の概要は以下のとおりです。多くの団体からの応募をお待ちしています。

### 1. 対象プロジェクト

- ①国内において「自然保護」「環境教育」「リサイクル」等の地域の環境保全に関する分野で実践的活動を行うもの
  - ②気候変動問題に関する情報提供や普及啓発（講座・セミナーの開催、出版物の発行等）を行なうもの
- ※原則として2017年度中に開始される予定のもの。（既に開始されているプロジェクトも可）

### 2. 対象となる団体

公益法人、NPO法人もしくは任意団体として、環境保全活動の実績が2年以上（2017年12月末時点）あり、助成の対象となったプロジェクトの実施状況及び収支報告について適正に報告できること。

### 3. 助成金額

助成金額は1プロジェクトにつき20万円を限度とします（総額300万円を予定）

- ①地域の環境保全に関する活動部門：10件程度
- ②気候変動問題の普及啓発に関する活動部門：5件程度

### 4. 応募締切日 2017年10月末（当日消印有効）

### 3. 市民のための環境公開講座パート2が始まります

当財団が、日本環境教育フォーラム(JEEF)および損保ジャパン日本興亜と協働で開催している、「市民のための環境公開講座」のパート1(7/4,11,18)が大盛況のうちに終了いたしました! 全3回の講演で延べ404人の方々にご参加いただきました。ありがとうございます。9月からは若い世代のメンバーが企画に携わったパート2「未来世代へのメッセージ」を開催いたします。奮ってご参加ください。



パート1開催時の様子



特別講座「GEMSワークショップ」

## ●● 市民のための環境公開講座 講座一覧 ●●

### PART 2 未来世代へのメッセージ

●9月5日(火)

エシカルな選択が未来を変える  
～私たちの役割～

一般社団法人エシカル協会代表理事、フリーアナウンサー 末吉里花氏

●9月12日(火)

スターバックスの倫理的なコーヒーの調達

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社  
コーヒースペシャリスト 田原象二郎氏

●9月19日(火)

本当の環境問題

早稲田大学教授 池田清彦氏

### PART 3 自然災害への備えと環境問題

●11月7日(火)

気候変動適応策からグリーンインフラへ  
持続可能で質の高い社会に向けて

東京都環境科学研究所 主任研究員 市橋新氏

●11月14日(火)

地震・噴火頻発期の日本列島  
その後の変化と課題

京都大学教授(地球科学者) 鎌田浩毅氏

●11月21日(火)

異常気象と私たちの暮らし

気象予報士・防災士・環境カウンセラー・元NHK気象キャスター 飯島希(いじま ほまれ)氏

#### 特別講座

都市と再生しながら自然環境を再生するグリーンインフラ見学会「大手町の森」

●講師：東京建物株式会社、内山緑地建設株式会社 ●日時：10月18日(水) ●場所：大手町タワー  
※詳細はWEBをご覧ください。

### 4. 2017年度「学術研究助成」助成金の交付先が決定

「学術研究助成」制度は、環境分野における博士号取得研究費用の助成を通じ、環境人材育成を支援する制度です。当財団では選考委員会を開催し、応募者多数の中から2017年度の「学術研究助成」の助成対象研究者5名を選考しました。(1名あたり30万円の助成)

#### 【2017年度助成先】

氏名	所属	研究テーマ
亀岡 大真	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科	森林火災と地域住民の関連性を3つの地図より読み解く ～インドネシア・リアウ州タンジュルバン村周辺を事例として～
伊川 萌黄	九州大学大学院工学研究院	日本における車体課税のグリーン化のCO2削減効果
羽島 有紀	一橋大学大学院経済学研究科	環境・経済思想にみる「自然の経済的価値評価」の課題
木村 元	明治大学大学院文学研究科	一般市民にとつての「環境リスク概念」とリスク管理のあり方に関する環境社会学的研究
楊 潔	神戸大学大学院経済学研究科	中国における水道事業の民営化が子供の健康状態に与える影響に関する研究